

# 「大動脈弁狭窄症に対する待機的大動脈弁置換術後 における 6 分間歩行が可能となるまでの日数に影響する 術前因子の検討」

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2022 年 3 月 17 日から 2022 年 5 月 31 日までを予定しています。

## 【研究の意義・目的】

先行研究にて、大動脈弁狭窄症に対する待機的大動脈弁置換術術後の転帰（自宅退院、転院）に影響する術後因子として 6 分間歩行が可能となるまでの日数が認められ、また術後 8 日以上日数を要した場合に転院となる傾向を認めています。

そこで今回、待機的大動脈弁置換術術後の転帰に関連する因子である 6 分間歩行が可能となるまでの日数に影響する術前因子について検討することを目的としています。

## 【研究の対象】

小倉記念病院において 2017 年 1 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日の間に、大動脈弁狭窄症に対して待機的に大動脈弁置換術を受けられた患者さんを対象としています。

## 【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、年齢、性別、栄養状態 CONUT、サルコペニアの有無、BMI、5m 歩行速度、握力、フレイルの有無、AS に伴う症状の有無、介護保険取得状況、家族による介護力の問題の有無、心不全症状の有無、NYHA、BNP、左室駆出率、不整脈の有無、既往歴の有無（心疾患、心臓以外の血管疾患、高血圧、糖尿病、脂質異常症、腎機能低下、透析、呼吸器疾患、脳血管疾患）、喫煙歴です。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、当院の研究責任者・宮川 幸大の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

## 【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為にを行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

## 【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（もしくは患者さんの代理人）にご了承いただけない場合には、研究対象としませんのでお申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 リハビリテーション課 担当者 宮川 幸大  
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号  
電話 093-511-2000（代）